

長寿のお祝い。いつまでも元気でいてね

市内各自治会老人クラブ敬老会



子どもたちによるお祝いの余興

9月20日の敬老の日を中心に、市内各地の公民館や公会堂などで、敬老会が行われ、77歳以上の皆さん3,638人が参加しました。

会場では、参加した皆さんへ長寿のお祝いの言葉が贈られたほか、子どもたちからの感謝の言葉、歌や踊り、楽器の演奏など、趣向を凝らした様々な催しや演芸が披露され、たくさんの笑顔や笑い声があふれていました。



楽しを楽しむ参加者の皆さん(三川地区)



9月19日、県温室農業協同組合クラウンメロン支所(袋井市小山)で、「クラウンメロン謝恩即売会」が行われました。

市特産のクラウンメロンのPRのため行われたもので、会場ではメロンの試食コーナーも設けられ、訪れた皆さんは最高級のメロンの味を楽しみました。



最高級メロンを試食

スポーツのある暮らしづくりシンポジウム

スポーツについて、もっともって考えてみよう

10月2日、月見の里学遊館で、「スポーツのある暮らしづくりシンポジウム」が行われました。暮らしの中にスポーツを取り入れることで、健康で豊かな生活を送る仕組みづくりを進めていこうと行われたもので、シンポジウムは、エアロビクの華麗な演技で幕開け。日本オリンピック委員会理事で参議院議員の橋本聖子さんによる講演会やパネルディスカッションが行われ、参加した約300人の市民の皆さんは、スポーツの効用やスポーツ文化の発展について知識や考えを深めていました。



パネルディスカッション



講演する橋本聖子さん



フォトコンテストの展示

水泳教室

会場では、200m自由形元日本記録保持者の原英晃さんによる水泳教室(水玉プール)やスポーツフォトコンテストの作品展示・市民投票審査も行われました。



児童によるエアロビクのアトラクション

※スポーツのある暮らしづくりシンポジウムは、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました。



ふくろい宣伝隊トラック

宣伝効果を高めるため、特産品のメロンや遠州ふくろいの花火など、市をPRするイラストや写真で全面ラッピングした2トントラックです。冷蔵冷凍機能も備えています。



宣 東海道どまん中ふくろい宣伝隊 出発式 宣伝隊トラック発進で、ふくろい市を発信！

9月17日、メロンやお茶、お米に花火など、市をPRするイラストや写真が全面に描かれたトラックとマイクロバスの宣伝車両「東海道どまん中ふくろい宣伝隊」の出発式が、市役所で行われました。

宣伝隊は、農商工団体と市が連携して立ち上げたもので、地場産品などを積み込んだトラックで全国のイベント会場に出向き、袋井市を売り込みます。この日は宣伝隊の初事業として、9月18日・19日に神奈川県厚木市で行われた「B-1グランプリ」の出展関係者が集合。車両の前で高らかに拳を上げ「がんばろう！」と氣勢を上げました。



隊員は宣伝隊マイクロバスで出発。ふくろいをいっぱい宣伝してきてね

あ 浅羽北小学校児童 稲刈り体験 あさき田んぼで、収穫の秋



いっぱい刈ったよ

10月12日、浅岡地内の田んぼで、浅羽北小学校の5年生83人が稲刈りを体験しました。

「あさき田んぼ」（浅羽北小学校の田んぼの意味）と名付けたほ場で、田植えから米作りの学習をしてきた児童たち。かまを片手に黄金色に実った稲を両手いっぱい刈り、収穫の喜びを体験しました。



みんなで稲刈りました

協 市協働まちづくりセンター「ふらっと祭」 協働まちづくりの拠点で市民交流

9月26日、市協働まちづくりセンター「ふらっと」で、「ふらっと祭」が行われました。

「ふらっと」は、市民活動を実践する団体や個人の活動の場として平成18年に設置された施設で、今年9月現在、47の市民団体などが登録しています。

会場では、各団体の活動内容を紹介するパネル展示のほか、フリーマーケットやミニコンサート、マグロの解体ショーなどの催しも行われ、訪れた皆さんは、楽しみながら市民活動への関心を高めていました。



パネル展示で活動紹介



マグロの解体ショー